

グループディスカッション ワークシート

グループ名: B

【テーマ】「当事者が安心して生活を送るためのつながりづくり
～「つながる」ために課題となっていることを挙げ、
その具体的な取り組みについて、多様な視点で語り合おう～」

ワーク1:「つながる」ために課題となっていることを挙げよう。

○現在、地域の中でどのような「つながり」があるか。

- ・ 地域活動支援センター
- ・ 自立支援協議会
- ・ 事業所でバザーや餅つき大会を行い、当事者家族にも参加してもらっていた。
- ・ 事業所の一室を地域開放し、子どもたちの自習室として活用してもらっていた。
- ・ 児童分野では行政でも関係機関が多くつながりがある。事業所間でもつながりがある。
- ・ インターネットメディアを活用した交流会で外国からも参加している方もいた。
- ・ コミュニティセンターでの催事。チラシを事業所まで届けてくれることがあり、利用者に共有している。
- ・ 当事者が小学生に話す機会があった。

○「つながる」ために課題となっているのは、どのようなことか。

- ・ 地域の活動に参加した際に、子どもたちが質問がありそうだったが、質問しがたい雰囲気だったと思う。
- ・ コロナ禍以降、事業所で開催していたイベントが途絶えてしまった。
- ・ グループホームの入居者は地域とつながりそうでつながらないことがある。孤立しがち。
- ・ 接点が無さすぎると新たなかわりが生まれにくい。緩やかな接点が必要。
- ・ 情報格差がある。教えてもらえないと情報を得られない人、分かりやすい日本語の方が伝わる方がいるため配慮が必要。

ワーク 2：具体的な取り組みについて、多様な視点で語り合おう

○ワーク 1 を踏まえ、具体的などのような取り組みができるか。

- ・各分野との関りが少ない。事業所や地域活動組織でもお互いが行っていることを互いに発信することで、かかわりが持ちやすい環境を整えたい。
- ・障害者、健常者、老若男女問わず参加している歌を歌うイベントが市内でも開催されている。そういった活動が広がっていけばよい。